

社説

○被服具改良委員會の進行

○英國海軍之商業會議所

の要に曰く從來英國の商業會議所は相提携して自國海軍の擴張に就き輿論を喚起し又絶えず時の政府を制衡するに於て與て大に力あり今日の英國が彼の佛國革命戰爭の開闢したる當時の如く無備の悲境に送巡せざるものには主として是等團體の盡力に由るものにして我が商業界の最上流に立てる市民諸氏の炯眼、夙に英國海上貿易の現位置を永遠に持続するの方法は唯々制海權を確保するに足るべき海軍の勢力に依頼するの一途あるのみなるを網羅せるは實に英國の幸福と謂ふべし英國商業會議所は九月十五日サムザムブトンに於て臨時総會を開き翌日第一に往年海防條例制定の際聯合會の之に就て一章盡力したる功績を稱揚せしは其當と從なるものなりベレスフオーリ卿は商業會議所が英國政府より本席に就て常に首唱者と爲り一方には政府當局の主義を促すと同時に一方には國民の輿論を喚起して政府施政の先導たらしむるに鞠躬したる由と

るは國家の得策なるみどを認知する以上は全く偏屈心
を去て配下の兵員を訓練するに全力を注ぐべきは疑
を容れざる所なれども左りとて急遽に多数軍艦の乗組
員を交代せしむるの必要なかるべく唯だ幾隻の練習艦
を特別に指定し艦内に於て豫備兵訓練の任に當らしむ
るは最も適切の方案なるを信ず
ベレスフォード卿の所謂「有力の豫備兵を得んと欲せ
ば須く其兵員を訓練せざるべからず」との立論には何
人も異見なかるべし何となれば海軍の素養なき兵員を
軍艦に乗組まつて未だ乗馬の術を學ばざる騎兵隊を
戰場に送ると一概、其危險自はすして明なればなり終
に或んぞ開港場監視所聯合會に寄附する所なると欲す
田ぐ貴族の豪傑として甚だの尊を誇る者は隨時に勤
務する者等出島の水先事務に堪能すべし同時に押車の爲
に有為有力の豫備兵を備すべく方法を講究せら
れんみると是なり云々

第五十六條　見前軍
八陸軍省總通局長
分ス

實質せり難し倫敦商業會議所が獨に海軍擴張の急務を
建白しその結果として政府は新に二億磅の鉅額を支出
して無慮七十隻の艦艇を増製するの計畫を立てたるふ
とは世人の記憶せらるゝ所ならん又海軍大臣はリヴァ
プール商業會議所の真誠に應じて艦隊の膨大に伴ひ相
當の人員を充實するは政府の任務と認むるの旨を答辯
に及びたり然るに今や更に一步を進め商業會議所聯合
會は今回特別總會に於て左の決議案を通過せり

本會の見る所を以てせば政府は猶豫なく海軍豫備員
を增加すべき緊急問題を處理すべし是れ獨り通商貿
易の保護、食料品供給の確保のみならず帝國制海
權の維持に就ても亦絕對の必要を感じるものと信す
今日我が海軍々人の不足數は眞に幾何なる乎ベレスフ
オード卿の唱道せるが如く二萬餘人に入る乎將又海軍
大臣の親く述べたる如く一萬一千人に過ぎざる乎是れ
繼て起るべき重要な問題にして政府は本年度計畫の艦
艇四十六隻に向て未だ一人の乗組員をも養成するの準
備なきが如し世の論者或は曰く戰時に要する丈けの現
役兵を平時に養成し置くの必要なきを以て今日の組織
を根底より刷新するに若かずと今日英國の商船員は僅
々五六萬人に過ぎず而して商船を保護するは亦海軍の
一任務なるに相違なきも有事の日若し船員を商船より
奪ふ様にては海軍は却て商船を苦悶の地に陥らしむる
の解あらんのみ從來吾人の再三復したる如くチルソ
ン時代に於て我が海軍が商船水夫の助力を待つみど多
かりし所以は彼等水夫は能く僅少の時日を以て舶刀の
操法、滑膛砲の發射法等を練習し得たりしに由るもの
にして今日は事情一變亦往時の如く容易に海軍技術を
知悉すべからざるのみかベレスフード卿の言の如くに
我國水夫の能力、漸次衰退の傾向あるを以て目下の困
難に處するの法は海軍的の訓練なき商船水夫に依頼す
るふとを爲さず別に憲能の豫備兵を養成するに在るの
み而して如何にして斯る豫備兵を養成すべき乎と云ふ
に是れ至難の問題にして我が海軍に短期役の制を採用
するに就ては花々しき異論ありと雖も其實の制は海
外諸國に在て防衛的の豫備兵を養成する唯一の方法に
して又我が陸軍に於ても已に之を採用せり思ふに英國

四百一